



# 祖師谷

学校だより No. 1 1  
令和 8 年 1 月 30 日 発行  
世田谷区立祖師谷小学校  
校長 小俣 和也

## 「世界」の平和を願って

副校長 千住 希望

私が本校に着任してから 10か月がたちました。このように学校だよりの巻頭言を書かせていただく機会が今年度内では今回が最後と思い、卒業していく 6 年生に向けて、文集への寄せ書きには納まりきらなかった思いを綴らせていただきます。

### ○「命は一つしかない」

私は、広島県に生まれ、小さいときから、当たり前に 8 月 6 日や 9 日には黙とうをしていました。小さいときに父親を亡くし、母親に一人で育ててもらいました。いつか恩を返したい、と思っていたにも関わらず、母は私が社会人になったその年に亡くなりました。母の体は原爆症に侵されていました。母の両親は、原爆投下直後の広島市街を親戚を探すために、まだ赤ん坊だった母をおんぶして歩き回ったと祖母から直接聞かされました。高校生だった当時の私は、母親がよく病院に行ったり、「疲れた」といっては横になったりし始めた頃には、『残留放射能被ばく』という言葉を知っていくことになります。直接、原爆の被害にあっていなくても、被爆直後の市街地に入れば、焼け残った建物や土壤から放射線が人体に影響を及ぼすのです。当時、多くの人が白血病やがんを患ったのです。母もその一人でしたが、幸か不幸か生き長らえて、大人になってから発症したのです。

初めてもらった給料でプレゼントをすることも、大好きだった旅行に連れていくこともできませんでした。もっともっと「ありがとう」と言わなければならなかつたのに、あつという間に天国に行ってしまいました。そんな経験を語り継ぐことが、広島に生まれた私の使命であり、りっぱに育ててもらった親の恩に報いることだと思います。ですから、一人でも多くの子どもに教育の力を使って幸せになってもらうことが本懐です。

人の命は有限です。親の愛は無限です。卒業していく 6 年生の皆さんにはお願ひが 1 つだけあります。一番の親への恩返しは「自分の命を大切にすること」です。どうか、自分の命を、人生を大事にしてください。

### ○「ケ・セラセラ」

もう 1 つ、6 年生の皆さんにお伝えしたいこと。これはアドバイスです。辛くて辛くて大変なことが、この先確かにいっぱい転がっていると思います。でも「ケ・セラセラ」です。スペイン語で「なるようになる」という意味です。「明けない夜はない」のです。歯を食いしばって、失敗しようが倒れようが、おいしいものを食べたり、お風呂に入ってあつまつたりしたら、心は気力を回復できます。Mrs. GREEN APPLE の歌にもありますが、どんなことでも乗り越えられると自分を励まし褒めたり、愛したりできるのはまず「自分」です。家族や友達ももちろん支えてくれるとは思いますが、一番は自分で自分を「よく頑張ったね。」と寝る前に褒めてあげましょう。

目の前にある無理難題を全部、全力で取り組む必要はありません。自分ができなくとも誰かが代わりにやってくれるし、その時は「ありがとう」と伝えればいいのです。失敗したら「ごめんなさい」と謝ればいいのです。ただ、頑張りたいと思ったことには、全力で取り組みましょう。乗り越えられたら最高に嬉しいですし、その喜びを近くの人に伝えてその人も幸せにしてあげられます。そしてもし、乗り越えられなかつたら「ケ・セラセラ」です。その位の力の入れ加減で生きていくことをお勧めします。人生は楽しいですよ！

### 【重点目標の取組について】

よく考え進んで学習する	明るく思いやりのある	進んで体をきたえる
<b>社会科見学（3～6年生）</b> 社会科見学は、学習内容について実際に見学したり、体験したりして学びを深めていくことをねらいとしています。3年生は区役所と古民家、4年生は虹の下水道館と浅草、5年生は味の素工場とクロステックミュージアム、6年生は科学技術館と国会議事堂などを見学しました。体験を基にした学びが、キャリア未来デザイン教育につながります。	<b>道徳授業地区公開講座</b> 2月は年に 1 度の道徳授業地区公開講座があります。全学年、道徳の授業を公開し、子どもたち自身が自己の生き方について考えを深めていきます。ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。 さらに 4 校時には、5・6 年生と全学年保護者対象に講演会も予定しています。命について考えるいい機会になればと考えています。	<b>ペースラン旬間</b> 1 月 19 日（月）から 2 週間、ペースランに取り組みました。校庭で 5 分程度走り、持久力を高めることをねらいとした活動です。自分に合った歩幅やペース、呼吸のリズムを見付けることを目指しました。また、友達と共に走ることの楽しさを味わっていました。旬間が終わった後も運動を続けてほしいと思います。